

特集 令和4年度予算

繰越金により 収支維持

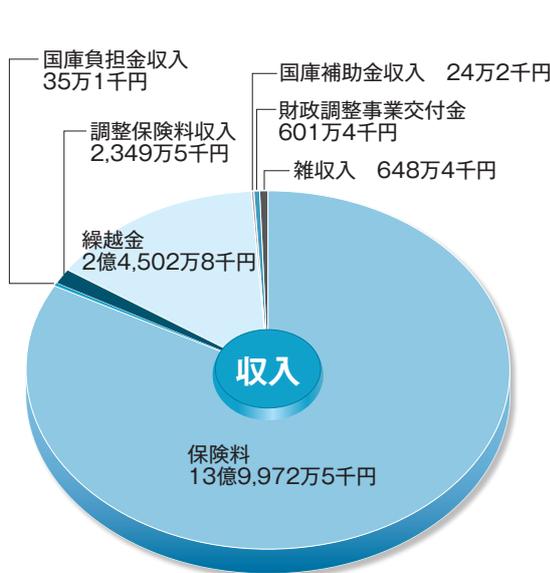
令和2年度の全国1388組合における健保組合の決算見込みは、保険給付費の大幅な減少等の影響により、黒字での決算となりました。赤字組合は、昨年比26組合減少し、全体の33%にあたる458組合となる見込みです。健保組合を取り巻く状況では、団塊の世代が75歳(後期高齢者)に到達し始める「2022年危機」に突入しました。さらに2025年には、団塊の世代がすべて75歳以上となり、健保組合にとって厳しい状況が続く見込みです。国民皆保険制度の持続性を確保するためには、医療費の増加抑制や現役世代の負担軽減を図ることなどが喫緊の課題となっています。

このような厳しい状況のなか、当健保組合の令和4年度予算は、単年度では支出が収入を上回りますが、前年度からの繰越金により、収支を維持します。財政の健全化に向けて、これまで以上に効率的・効果的に保健事業を推進してまいります。加入者の皆様もぜひ積極的に各種保健事業の参加やジェネリック医薬品の活用などよろしくお願いたします。

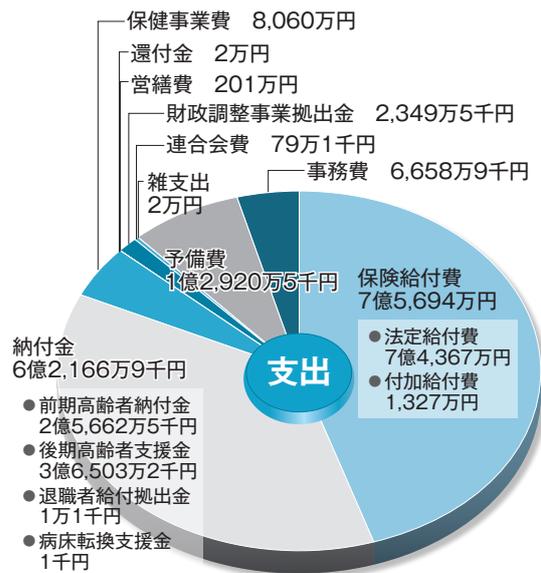
基礎数値

被保険者数	2,500人
平均標準報酬月額	428,000円
総標準賞与額(年間合計)	4,253,939千円
被扶養者数	2,318人

一般勘定



収入合計	16億8,133万9千円
経常収入	14億622万2千円



支出合計	16億8,133万9千円
経常支出	15億2,660万9千円

経常収支差引額 ▲1億2,038万7千円

収入

総標準賞与額の増加により増収の見込み

保険料収入は、総標準賞与額の増加を見込み、前年度比1858万6千円増の約14億円となる見込みです。

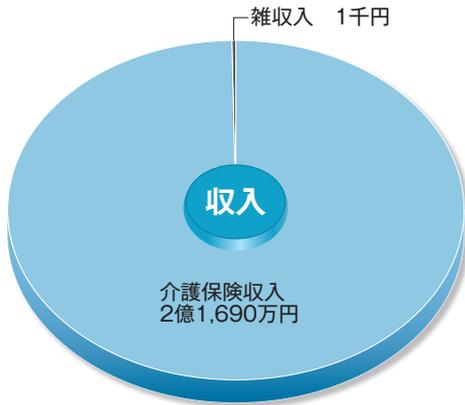
収入不足を補うため、前年度からの繰越金を約3億円(予測)繰り入れて予算編成しています。

支出

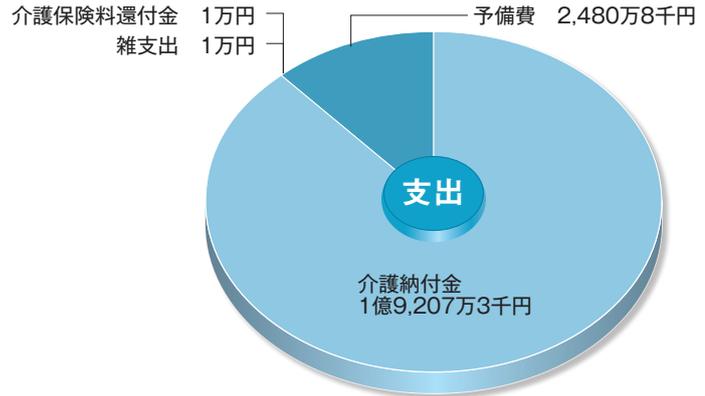
納付金負担は減少へ

おもに皆様の医療費に支払われる保険給付費は、対前年度比1856万増の約7億円となる見込みです。また、高齢者医療を支える納付金は、対前年度比6971万9千円減の約6億円を見込んでいます。

介護勘定



収入合計 2億1,690万1千円



支出合計 2億1,690万1千円

〈令和4年度に実施する保健事業の内容〉

病気の予防対策

- 各種検査費用の負担および補助
 - 胃健診(定期健診時)
 - 血液検査(定期健診時)
 - 大腸がん検診(定期健診時)
 - HBs 抗原検査(定期健診時)
 - HCV 抗体検査(定期健診時)
 - 特定健診(家族健康診断)・特定保健指導(随時)
 - 子宮がん・乳がん検診(随時)
 - レディース健診(随時)
- 人間ドック費用補助
 - 病院直接支払い補助(随時)
 - 個人受診ドック補助(随時)
- 電話によるメンタルヘルスカウンセリング(随時)
- 家庭用常備薬斡旋(年3回)
- 無料歯科健診(随時)

保健衛生の広報

- 被保険者向け「けんぽニュース」をwebにて掲載
- 新入社員向け「社会保険の知識」配布(4月)
- 「すこやかファミリー」配布(年6回)
- 医療費のお知らせ(1・4月)
- 家族健診(レディース健診・特定健診・人間ドック・がん検診)案内書の配布(案内書4・10月)

健康増進・リフレッシュのために

- フィットネスクラブ「コナミスポーツクラブ」の利用料金の補助



公 告

▶ 一般保険料率および調整保険料率が変更になります

		変更前			変更後		
		一般保険料率	調整保険料率	合計	一般保険料率	調整保険料率	合計
負担割合	事業主	42.840/1000	0.740/1000	43.58/1000	42.870/1000	0.710/1000	43.58/1000
	被保険者	39.730/1000	0.690/1000	40.42/1000	39.750/1000	0.670/1000	40.42/1000
	計	82.570/1000	1.430/1000	84.000/1000	82.620/1000	1.380/1000	84.000/1000
実施(予定)年月日		令和3年3月1日			令和4年3月1日		

▶ 組合規程の一部改訂

法定帳簿等の電子化に伴い、以下の規程を変更しました。

- 財産管理規定
- 健康保険組合会計事務取扱規定
- システム等運用管理規定

